

大阪府知事選挙及び大阪市長選挙の結果を受けて(声明)

2026年2月8日に投開票が行われた大阪府知事選挙及び大阪市長選挙において、有権者の皆さまが示された選挙結果を、私たちは真摯に受け止めます。厳しい寒さの中、貴重な一票を投じられたすべての府民・市民の皆さまに、心より敬意を表します。

本選挙は、衆議院総選挙と同日に実施されるという極めて異例の形で行われました。私たちは選挙期間を通じて、この「ダブル選挙」がもたらす民主主義への影響、すなわち選挙日程の公正性、行政の継続性、そして税金の使われ方に対する重大な懸念を訴えてまいりました。これらの問題提起は、選挙結果のいかにかわらず、今後の地方自治のあり方を考える上で極めて重要な論点であると考えています。

選挙は終わっても、今選挙が提示した政治責任は終わらないと考えています。新たに選ばれた知事・市長に対しては、パフォーマンスに依拠するのではなく、府民・市民の命と暮らしを最優先に、そして強権的な手法ではなく、議会や基礎自治体との丁寧な合意形成を重ねる府政・市政運営を強く求めます。

同時に、立憲民主党大阪府総支部連合会は、府議会・市会をはじめとする議会の場、そして地域の現場において、建設的かつ厳正なチェックと政策提案を粘り強く続けてまいります。

大阪の自治を守り、大阪の民主主義を取り戻すために、私たちはこれからも府民・市民の声に寄り添い、歩みを止めることはありません。引き続きのご理解とご支援を、心よりお願い申し上げます。

2026年2月9日
立憲民主党大阪府総支部連合会
特別代表 辻元清美